

質問日	令和2年3月9日(月)		質問方式	分割方式			
質問順位	4	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	4	氏名	酒井 豊 実
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 施政方針について	<p>「人口が集積する都会の理論だけによって、多数決で分配を押し通してはならない」</p> <p>「都会の都会による都会のための政治、これを是とするのではなく、多様性や豊かさを活かした幸福感についてより深く思考したい」(『全47都道府県幸福度ランキング 2012年版』より)</p> <p>低賃金・不安定雇用の常態化や、農林水産物の価格低迷と自然災害による大被害などに追い打ちをかける消費税増税によって、都市中心部から過疎地域の山間集落まで市民生活はますます厳しさが増している。そして新たな格差・貧困が生まれている。</p> <p>(1) 消費税増税による市民の暮らしと経済への影響の大きさをどのように認識しているか。また対策とされたプレミアム付き商品券の発行などの状況について、あわせて伺う。</p> <p>(2) 施政方針は、「令和2年度は、『多様性とイノベーションで理想の未来を創造』を重点化テーマに掲げ、3つの基本目標に基づき」取り組むとしているが、一人一人の市民が幸福を実感できるような予算になっているか伺う。</p> <p>(3) 住民投票の結果、2区案の提案、さらにこの間の行財政改革・大都市制度調査特別委員会の協議を踏まえ、行政区の再編について今後の方針を伺う。</p>						鈴木市長
2 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>保健、医療を初めとした全庁的な感染症対策本部体制を柱にして、日々変化する状況に機動的な緊急対応が求められている。</p> <p>感染症患者の入院医療は、県西部医療圏に第二種感染症指定医療機関として浜松医療センター(6床)と国民健康保険佐久間病院(4床)がある。</p> <p>(1) 2病院の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 医療センターは改築・改修の計画だが、感染症病床の空調性能の向上など機能強化について伺う。</p>						新村医療担当部長
3 佐久間病院と地域医療について	<p>(1) 佐久間病院の位置づけと医師確保について</p> <p>県は、静岡県医療対策協議会、ふじのくに地域医療支援センター、西部地域医療構想調整会議を設置して、医師の養成・確保を地域連携で推進している。緊急を要する事態に直面している佐久間病院の医師確保について、県及び市の対応について伺う。</p> <p>(2) 愛知県の東栄医療センターの透析部門が3月末で廃</p>						新村医療担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	止される計画が昨秋突如示された。佐久間・水窪地域の透析患者の医療確保について伺う。	
4 SDGsと高齢者福祉・セーフティネットワークについて	<p>一人一人の人生を大切にする高齢者福祉のセーフティネットワークは機能しているか。</p> <p>住み続けられるまちづくり。衣食住が安心なついの住みかとしての養護老人ホーム。このセーフティネットワークを確保・措置すべき地方自治体が、人生最後の温かい手を廃止していいのか。</p> <p>(1) 東京都江東区の高齢者孤立死事件を直視し、行政支援からの孤立問題について、新聞、水道、電気、ガス、郵便等事業者との連携の現状とセーフティネットワーク強化対策を伺う。</p> <p>(2) 養護老人ホームとよおかは合併後、2市1町の一部事務組合が設置している。目的、意義、経過、そして廃止計画、本市としての対策について伺う。</p>	朝月健康福祉部長
5 SDGsとPFI事業の新清掃工場及び新破碎処理センター施設建設について	<p>国内最大規模のPFI事業として、天竜区青谷地内の森林を切り開いて敷地を造成する工事とアプローチ道路の建設が進行し、あわせて搬入ルートになる県道と市道の道路改良も進行している。</p> <p>(1) 環境影響調査による当初の建設事業計画の変更について</p> <p>ア 昨年5月に敷地造成の位置が大きく設計変更されたが、理由、変更規模、事業費の減少について伺う。</p> <p>イ 特別目的会社（SPC）との施設整備運営事業に関する契約（777億6000万円）の減額変更などについて伺う。</p> <p>(2) SDGs13の目標達成とコークス（石炭）使用について</p> <p>ア ごみ処理施設は日鉄エンジニアリングの直接熔融炉（シャフト炉）が建設されるが、助燃材にコークス（石炭）を使用する。ごみ処理量1日399tで、コークスの使用量と品質について伺う。</p> <p>イ 温室効果ガスの排出量とその低減の方策について伺う。</p>	影山環境部長
6 SDGsと農業・林業について	<p>ますます激化する気候変動の中で、世界の人口を支える衣食住の基本的保障は最優先の命題となっている。世界規模で飢餓が拡大している。その中でアフガニスタン人民の生活復興に人生を捧げた中村哲さんの意志と活動は、飢餓を克服する農業・農地復興の道を開いた。戦乱で砂漠化した不毛の大地に人々の生活を復興するためには、まず「命の水」が必要であることを実践で示した。</p> <p>一方、日本の食料自給率（カロリーベース）は37%で、</p>	山下農林水産担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>先進国の中で低さが際立っている。市街化区域、市街化調整区域から山間地域まで、家族農業によって維持されている小さな農業・農地は、食料生産を支え、身近な地産地消、緑地保全、水害等災害防止など多面的な機能を発揮してきた。しかし今、歴代の農林業政策や自由貿易拡大などで農地も森林も農山村集落も危機に瀕している。</p> <p>(1) 国連は「家族農業の10年」(2019年～2028年)に取り組んでいるが、本市における陸の豊かさを守る家族農業、小さな農業・農地の位置づけ、意義、取り組みを伺う。</p> <p>(2) 森林の現場作業の中心になる林業労働の担い手づくりは最優先課題であり、「山間地域に定住して、8時間働けば普通に子育てできる賃金」が必要である。若者がチャレンジできなければ林業の未来はない。 森林環境譲与税(本年度分1億2040万円、新年度予算案2億5700万円)の山元の希望を開く使い方・取り組みについて伺う。</p>	
<p>7 弁天島海浜公園について</p>	<p>風光明媚な浜名湖の観光拠点にある市民の財産が、民間観光企業のホテル建設等開発事業に49年間の長期で貸与されようとしている。しかし、地元住民・関係者への説明責任が果たされてこなかったこと、住民合意のないことが明らかになった。また、県条例に規定された接道の必要条件に不適合の現実も明らかになった。</p> <p>(1) 住民合意なくして契約はできないのではないかと。住民説明と住民合意について伺う。</p> <p>(2) 県条例の接道規定及び田畑政治ゆかりの田畑家の弁天島別荘跡の一部(無番地)、三角地への対応について伺う。</p>	<p>石坂観光・ブランド振興担当部長</p>
<p>8 スズキ(株)への企業立地補助金について</p>	<p>(1) スズキ(株)からの補助金申請に対する審査は、書類及び浜松工場の全てにわたって厳密に実施されていることと考えるが、年度末が近づいた現在の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) コンプライアンス違反の事態が解消されたとは考えられず、いまだに国土交通省の四半期ごとのチェックは継続している。浜松工場建設の補助金申請及び本社敷地内の研究施設の補助金申請と交付に関するコンプライアンス違反についての判断を伺う。</p> <p>(3) 内部留保が潤沢な大企業への市補助金は廃止すべきと考えるが見解を伺う。</p>	<p>渡瀬産業部長</p>